

## 平成 29 年度臨時社員総会・臨時理事会 議事録

日時 平成 30 年 3 月 28 日（水）10：00～11：30

場所 別府市役所 4F-3 会議室

参加者 阿南代表理事、伊藤専務理事、阿知波理事、久保理事、利光理事、佐藤理事、河村監事、岡松監事（木村理事、千寿理事、森田監事が欠席）

### ■平成 29 年度第 2 回 臨時社員総会

- ・本会議の冒頭に伊藤専務理事より、本日の出席者、欠席者の確認があり、過半数の方の出席が確認され、定款により社員総会、理事会ともに成立する旨の説明が行われた。
- ・阿南代表理事より、3月に産業連携マネージャーの採用、別府市より7名の派遣が決まり、4月より新体制で臨む旨の挨拶が行われた。
- ・伊藤専務理事より、定款により議長の選出が行われ、阿南代表理事が議長となり、議事の進行が行われた。

### ◎第 1 議案 定款の変更について

- ・第 3 条の（4）項の削除、および（8）項の追加に関する提案
- ・承認

上記 1 点の議案にして関して、参加者より満場一致で第 1 議案は承認された。

以上

---

### ■平成 29 年度第 3 回臨時理事会

#### 1、平成 29 年度 事業報告

- ・社員総会に引き続き、定款により阿南代表理事が議長となり、議事の進行が行われた。
- ・伊藤専務理事より、平成 29 年度事業報告に関する概要が説明され、詳細に関しては事務局よりパワーポイントを使用し、各事業の説明が行われ、最後に参加者より質疑応答が行われた。

**(理事)**

・セミナー開催時、参加者の周知に関してはどのように行っているか？ HP以外でも何か行っているか？

(事務局)

・SNSの広告も少額であるが行っている。少額でも数千人に情報が流れるので、獲得につながっていると思われる。

**(理事)**

・地元のホテル・旅館組合など個別に案内を出しているか？

(事務局)

・個別にも案内を行っていますが、今回は参加できませんでした。個別に密な連絡は行っています。

**(理事)**技能実習生の受け入れセミナーの件、ベトナムの実習生の話しが出ていたが、実際はどのようなところで働いているか？

(事務局) ビルクリーンやメンテナンス等で働いている例を聞いています。

**(理事)**実際はグレーゾーンではあるが、業界は本当に人手不足なので活用している。また旅館、ホテルのメンテナンス業はいま事業撤退の流れにある。観光業者は自前で人材を確保しなければならないが、現状ではとても難しい。早急に対応しないと別府の観光産業の根幹が影響を受ける。別府市には早く特区制度を整えてほしい。

**(理事)**新年度から体制を整え戦略を立てていくと思うが、各事業の目的とKPIを明確にした方がよい。セミナーも集客でKPIを立てるのか、別のKPI立てるのか。今後検討していった方がよい。また、宿泊データは他にどんなものが出てくるのか？

(事務局) 宿泊データは、都道府県毎や国毎なども取得できる。インバウンドがなぜ増えているのか？など今後は他のデータ分析も行いたい。

**(理事)**宿泊データ以外で、別府市が持っている観光データはあるのか？観光案内所、観光施設側など。

(事務局) 観光施設であれば施設協議会が来場者数をとっている。次年度は受託業務の中で観光客への消費アンケートを行っていく。

**(理事)**別府のファンクラブを作ってほしい。ファンクラブへの情報発信を行うことで、SNSの情報発信以外も行なってほしい。

(理事)別府の観光客はリピーターが半数以上といわれている。そのような層の分析を行っていくと良い。

## 2、平成 30 年度 事業計画および予算案について

伊藤専務理事より事業計画および予算案について説明があり、阿南代表理事より補足説明が行われた後、参加者より質疑応答が行われた。

(理事)ミニ別府市役所を作るのではないかとよく周りから言われる。市役所でできないことをやるといってビービズを創ったはずなので、ビービズは市役所でできないことをやらなければいけない。今後、DMO 機能も入れると、入湯税の使い先もそこに反映されるのか？

(代表理事)市長は株式会社別府市と言っているが、役所のエース級メンバーを複数入れ、民間の方も入っているので、今後は役所ではできないことをやっていく。

入湯税の件は未来検討会議でも議論する。また、ビービズもシンクタンク的な役割として、入湯税の使い道を提案していく。さらに皆さんから市の方にも意見を出していただきたい。

(理事)入湯税の件はとても慎重になっているので、入湯税がもしビービズの予算になるのであれば使い方を十分に考慮してほしい。

(理事)ビービズとしての事業計画がない。今日の説明は別府市からの委託事業に関するのみになっている。別府が稼ぐ力をつけるために立ち上がった組織なので、ビービズとしてこの目的を達成できる為の事業を行なってほしい。

(代表理事)議会でもビービズ自体の KPI についての指摘があった。本日は目標値を準備できなかったが、議会でも 5 年以内に自走するという話しもしたので今後準備したい。

(理事)一般社団法人として稼ぐ為にどうするのか、組織として、意思決定をどのようにするのかなど、この場で決めるのか、行政から提案があるのか、どうしたらよいか漠然としている。プロジェクトの集合として、6 つの事業をバラバラ進めると結果を出すのは難しいと思う。それぞれをどう連動してやっていくのか、共通認識を持ちたい。

(事務局)今回の委託内容は、すべて連携するつもりで委託を受けている。KPI については、各課から出してもらうように調整している。それぞれの事業通して別府が稼ぐ力を付けられるようにビービズは事業を行っていく。それぞれ専門分野の理事の皆さんからの意見を聞かせてほしい。

(理事)前提が、委託事業のことになっている。5年後の自走を目標にするのであれば、ビービズとしての事業計画がないと1年後、2年後、どうなっているのか？をイメージしておかなければならない。委託事業がなくなった時の事業計画も考えて、ビービズとしてのKPIを立てなければならぬ。

(代表理事)なるべく早くビービズとしての事業計画とKPIを立てて理事会で出したい。

(理事)空き家対策と移住定住の事業について、BEPPU PROJECTも空き家対策を行っているが、持ち主に行き着かない。空き家バンクに登録されていないことが今一番困っている。また別府プロジェクトはどんな空き家であれば住みたいかという情報などをすでに持っている。それぞれの情報を共有して進めてほしい。

(事務局)空き家情報は建設部の方で1000件程度の調査を行っており、60件くらいはこれから掲載ができそう。

(代表理事)BEPPU PROJECTさんがやっている部分とビービズの事業で、かぶっている部分もあると思うので都度連携して行ってほしい。

(監事)市からの業務委託を中心にやっているだけでは、ビービズが収益を上げるのは難しいのではないか？また、行政マンがビービズに来たことでスピーディーに自由度が高く、事業を行うことができるのか？

(事務局)ビービズの中の方がスピード感のみでなく事業が進めやすいという実感がある。また別府市からの委託事業は、委託元の別府市に意向を組まないといけない部分はあがるが、ビービズが委託元に提案し進めていく。

(監事)一般社団法人は営利型と非営利型がある。ビービズは理事配当がないので非営利型に当たると思う。ある種の公共性も必要になるが、自走することを前提とするならば、稼ぐということをもっと意識しなければならない。

(理事)事業の中に営利と非営利が混ざっているのが、難しいところなのではないか。一色淡になっているところをもう少し明確にしてはどうか。

(理事)混在は仕方ないことなのでKPIを何にするのかによって区別すればよいでしょう。

・最後に伊藤専務理事より新体制の組織図と各人の紹介があり、議長阿南代表理事よって本会を閉会した。

以上